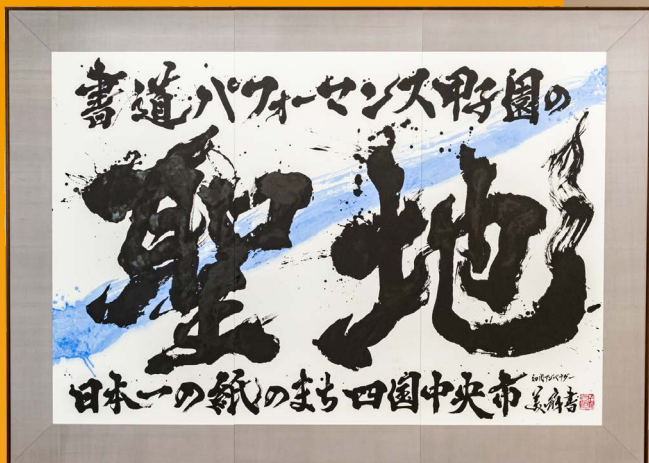


## 青柳美扇アンバサダーの額装書を展示



書道家の青柳美扇（書道パフォーマンス甲子園アンバサダー）の直筆の書が市役所5階ロビーに展示されました。書道パフォーマンス甲子園の開催地である本市を「聖地」と表現した書は、縦2.2m×横3.1mあり、まちのPRに繋がられます。

## 書道Pのうちわで投票を呼びかけ

先に行われた参議院議員通常選挙で18歳以上の投票を呼びかけるうちわの裏面に、過去の書道パフォーマンス甲子園の写真が使用されました。



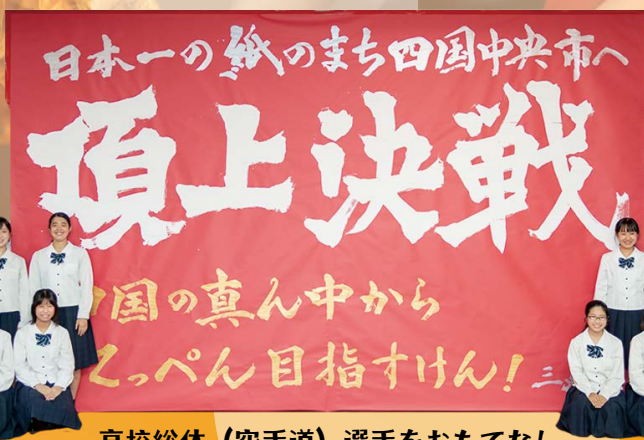
## ポロシャツで書道P甲子園をPR

大会をPRするポロシャツが川之江信用金庫、フジ各店、郵便局の窓口などの接客業務で着用され、地元での盛り上がりが出されました。



まちに広がる書道パフォーマンスを一挙公開!

# 書道パフォーマンス甲子園 スピン・オフ（番外編）



## 高校総体（空手道）選手をおもてなし

全国から集まる選手たちを励ますため、三島高校書道部がJR伊予三島駅の構内に選手の歓迎を表す書を掲示しました。

## ラッピングトラックで、全国津々浦々

川之江港湾運送㈱が書道P甲子園をデザインしたラッピングトラックを制作。後部には大会優勝作品が描かれ、全国を走りながらPRします。



溢れる情熱と青春を書道に懸けた高校生たちの書道パフォーマンス甲子園の物語は、平成20年の夏、四国中央市から始まった。  
—— あれから15年 ——  
今月号の市報では「書道パフォーマンス甲子園 スピン・オフ（番外編）」として まちに広がるムーブメントを一部ご紹介いたします。

▶次号では、書道パフォーマンス甲子園の結果をお届けします